

2015年8月26日

報道関係各位

GMOクラウド株式会社

HTML5 と WebGL を用いた 3D ゲームが制作できる ゲームエンジン「PLAYCANVAS」を日本国内向けに販売開始

GMO インターネットグループの GMO クラウド株式会社（代表取締役社長：青山 満 以下、GMO クラウド社）は、PLAYCANVAS 社（CEO：Will Eastcot 本社：イギリス、ロンドン市）が開発・運営する、3D ゲームが簡単に作れるクラウド型ゲームエンジン「PLAYCANVAS」の日本国内向け販売について、同社との契約を締結し、本日 2015 年 8 月 26 日（水）より日本国内のゲーム開発者向けに販売開始いたしました。

【「PLAYCANVAS」販売開始の背景】

近年、簡単にスマートフォン向けゲームを開発できるツールの普及や、ダウンロード販売を行うゲーム販売プラットフォーム市場の拡大に伴って、販売会社（パブリッシャー）を通す必要のない手軽さから、個人や数人規模のチームで開発された“インディーズゲーム”が盛り上がりを見せています。昨年開催された「東京ゲームショウ 2014」においても、70 以上の団体・企業・個人によるインディーズゲームブースがメインホールに展開され、前年にくらべて来場者が急増するなど、今後もインディーズゲームへの関心が高まっていくと考えられています。

また、最近こうしたインディーズゲームシーンにおいても、3D グラフィックで表現力豊かなゲームの開発ニーズが高まっており、小規模で設計を行うインディーズゲーム開発者の間では、より簡単に高品質なゲームが作成できるツールが求められています。

こうした中、イギリスの PLAYCANVAS 社は、ほとんど全ての端末やブラウザ、アプリストアに対応した 3D ゲームの制作が可能な、クラウド型ゲームエンジン「PLAYCANVAS」を開発し、イギリスをはじめとする世界 126 カ国、5 万 5,000 以上のユーザーに提供しています。

一方 GMO クラウド社では、低価格ながら高い拡張性と安心のサポートを誇るクラウド・ホスティングサービスを提供してきたノウハウを活かし、ネットワークエンジンサービス「Photon」をはじめとするゲーム開発ツールの提供でゲーム開発者を支援しております。この度その一環として、インディーズゲーム開発にも最適な「PLAYCANVAS」の日本での独占販売契約を PLAYCANVAS 社と締結し、本日より国内のゲーム開発者向けに販売を開始いたしました。併せて「PLAYCANVAS」の日本語サイトを公開し、日本語でのサポートも行います。

【「PLAYCANVAS」の特徴】（URL：<https://playcanvas.com/>）

「PLAYCANVAS」は、豊富な機能を備えたオープンソースのクラウド型ゲームエンジンです。クラウド型のためデバイスを問わずいつでもどこからでもアクセスできるので、複数人で同時に開発を行う場合にも最適です。

特徴 1 : ほぼ全てのブラウザと主要アプリストア対応の 3D ゲームが作成可能

「PLAYCANVAS」では、ブラウザ上で 3DCG グラフィックを表示できる HTML5 および WebGL を用いた 3D ゲームを作成することができます。「Google Chrome」や「Firefox」、「Safari」をはじめとする多種のブラウザに対応したブラウザ型ゲームはもちろん、「Google Play」や「App Store」などの主要アプリストアで配信可能なアプリゲームを開発することができます。

特徴 2 : SNS アプリがゲームプラットフォームに

「PLAYCANVAS」で作成したゲームはモバイルブラウザに完全対応しているため、Facebook や Twitter などの SNS アプリを利用するユーザーは、こうした SNS アプリ内から直接ブラウザゲームページへアクセスし、ゲームをプレイすることができます。

また、このように SNS アプリをゲームプラットフォームとして活用するだけでなく、同じゲームをブラウザゲームとアプリの両方で提供することで、例えばブラウザゲームはシェアされやすい SNS でプロモーション展開を行い、そこからアプリのユーザー獲得につなげていくといった活用も可能です。

特徴 3 : 表現力豊かなプロモーションコンテンツを作成し、PR に活用

「PLAYCANVAS」は、ゲームだけでなく、製品を 3D 化し、実際の使用をイメージ出来るプロモーション用コンテンツを作成することも可能です。作成後は Web 上に出力して公開するだけで、PC やスマートフォン、タブレットなどあらゆるデバイスからブラウザ経由で閲覧可能になります。ページ公開されたコンテンツは即時にシェアできるので、製品の PR としても効果的に活用することができます。

【「PLAYCANVAS」利用概要】(価格は全て税抜)

■ 価格・機能一覧

プラン名	月額費用	ストレージ (MB)	プライベートプロジェクト ^(※)	利用可能者数	iOS サポート	メールサポート
Free	無料	200	0	2	×	×
PRO5	2,535 円	500	5	5	○	×
PRO10	5,070 円	2,000	10	10	○	×
PRO20	1 万 140 円	10,000	20	20	○	×
ORG5	1 万 6,900 円	500	5	5	○	○
ORG10	3 万 3,800 円	2,000	10	10	○	○
ORG20	6 万 7,600 円	10,000	20	20	○	○

※チームメンバーのみに公開が出来るプロジェクトのこと。

■ 日本語サポート

- ・「PLAYCANVAS」日本語サイト URL : <https://playcanvas.com/>
- ・お問い合わせ窓口 : info@playcanvas.jp

<PLAYCANVAS CEO Will Eastcot 様 コメント>

巨大な開発者エコシステムを持つ日本市場に「PLAYCANVAS」のテクノロジーを紹介する最高のパートナーと出会えました。「PLAYCANVAS」を販売およびサポートする素晴らしいチームを得ることができ、ついに日本の開発者にモバイルウェブで 3D をフルに活用するお手伝いが出来ます。

【GMO クラウド株式会社とは】

1996 年のサービス開始以来、ホスティング事業者として 13 万を超える法人のお客様のサーバー運用実績と国内およそ 6,000 社の販売代理店を有しています。2011 年 2 月にクラウドソリューション「GMO クラウド」を立ち上げクラウドサービス事業に本格的に参入して以降、クラウド事業に主軸を置いて国内のみならず世界へ向けてサービスを展開し、グローバル企業を含む多くの企業に最適な IT インフラを提供しております。こうした IT インフラの提供で培ってきたノウハウを活かし、ソリューション事業の一環として、ネットワークエンジンの「Photon」シリーズ、ジェスチャー認識ソフトウェア「Ari」、クロスプラットフォーム開発キット「Marmalade」を販売し、ゲーム開発者を支援しております。

また、2007 年より「GlobalSign」の電子認証サービスを連結会社の GMO グローバルサイン株式会社を中心にベルギー、英国、米国、中国、シンガポール、フィリピン、インド、ロシアの拠点よりグローバルに展開しております。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO クラウド株式会社 社長室 広報担当 遠藤・松下
TEL : 03-6415-6100 FAX : 03-6415-6101
E-mail : pr@gmocloud.com

【サービスに関するお問い合わせ先】

- GMO クラウド株式会社 PLAYCANVAS 運営事務局
E-mail : info@playcanvas.jp

- GMO インターネット株式会社 グループ広報・IR 部 石井・島田
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

【GMO クラウド株式会社】(URL : <http://ir.gmocloud.com/>)

会 社 名	GMO クラウド株式会社 (東証第一部 証券コード : 3788)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 青山 満
事 業 内 容	■クラウド・ホスティング事業 ■セキュリティ事業 ■ソリューション事業 ■IAM 事業
資 本 金	9 億 1,690 万円

【GMO インターネット株式会社】(URL : <http://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット証券事業 ■モバイルエンターテインメント事業
資 本 金	50 億円

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

Copyright (C) 2015 GMO CLOUD K. K. All Rights Reserved.